

2025年度国保料の緊急引き下げを求める要請書

京都府市は1月29日に2025年度の国民健康保険料の引き上げ案を公表した。これによると2000年以降最大の引き上げとなる10,222円(10.4%・一人あたり昨年度比)となっている。引き上げの対象は国保加入者25万人である。

京都府による2025年度の納付金額は、約419億円であり、基本的に毎年増加している。

京都市は、これまで基金の取り崩しや一般会計からの繰り入れで保険料の引き上げを抑えてきたが、来年度からは従来からの一般会計からの繰入金64億円は確保するが、納付金の伸びを保険料に反映するとしている。また2024年度に追加投入した67億円は、次年度以降も継続することは困難なために段階的に解消するという。これでは、来年度以降も国保料が毎年引き上げられることになりかねない。市長は、「一般会計から国保会計に繰り入れて保険料の引き上げを抑えてきたことは、結果的に国民健康保険事業の相互扶助の本質から目をそらした負担の先送りだったのではないかと2月17日の京都市議会本会議で発言している。しかし、京都市の責務は、社会保障制度としての国民健康保険・公的医療保険を守り、充実させることであり、「払えないほど高い保険料の解消」という市民の願いを実現することである。

今回の引き上げ案は、低所得者が多い国民健康保険の被保険者が、高額な保険料の支払いを強要される事態を拡大し、国保制度の崩壊になりかねない。だれでも安心してかけられる医療保険制度の充実のために、国保料の引き下げと名古屋市や仙台市などで制度化されている減免制度を京都市でも具体化することこそ必要なことである。

以上のことから下記の事項を要請する。

- 1 国保料の引き上げを行わないこと
- 2 京都府に2025年度納付金の再改定を求めること
- 3 国民健康保険の国庫負担率の大幅増を国・京都府に求めること

名 前	住 所 (市町村・行政区だけでもけっこうです)

この署名は2025年度国保料の引き下げを求める署名以外に使用いたしません

取り扱い団体 _____